

第5学年 学級活動指導案

平成24年 9月28日(金) 第1校時 5学年 指導者 井熊 和義
 平成24年10月 2日(火) 第5校時 5学年 指導者 井熊 和義
 平成24年10月15日(月) 第2校時 5学年 指導者 井熊 和義

- 1 議題 「高学年として、きまりを守り楽しいたくみの里体験学習にしよう」
 内容(1)ウ 学校における多様な集団の生活の向上

- 2 議題について
 (1)児童の実態(略)

(2)議題選定の理由

本題材は、学習指導要領における学級活動の活動内容(1)学級や学校の生活づくりーウ学校における多様な集団の生活の向上を受けて選定したものである。

運動会では、学校行事に対する高学年としての責任を自覚することができ、学年全体で力を合わせ、活動することの大切さを体験した。次の学年行事「たくみの里体験学習」が近づくにつれて、児童の興味と期待が高まってきた。

1学期に実施した東京旅行では、友だちと協力して楽しく過ごすことができた。しかし「時間が守れなかった」「班の活動で班員がバラバラになってしまった」などの反省が挙げられた。そこで、たくみの里体験学習では、その反省を生かし、自分たちの力で行動目標や約束を決め、さらによりよい活動にしていきたいという児童の思いから、本議題が選ばれた。

児童は、学校行事に向けた話し合い活動を東京旅行で経験している。東京旅行のグループの分け方やバスの中での過ごし方等を学級の話し合いを行った。たくみの里体験学習では、高学年としての集団意識をさらに高め、学年全体の活動に積極的に取り組むために、学年での話し合い活動を取り入れる。学年による話し合い活動の充実を通して、学校行事への主体的な参加を促し、集団への所属感や連帯感を深め、よりよい人間関係を築いていきたい。

3 第5学年及び第6学年の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学校行事の充実にかかわる諸問題について関心をもち、進んで自分の考えやその理由を伝え合って、協力して話し合おうとしている。	活動計画に基づき、よりよい学校行事に向けて考え、多様な意見のよさを生かしたり、自分の言葉で建設的な意見を述べたりしながら話し合っている。	学校行事や学校生活をよりよくすることの大切さや話し合い活動の意義や話し合い活動の効率的な進め方について理解している。

4 事前の活動

【計画委員会の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と 評価方法
9月18日 (火)	計画委員会を組織する。	各クラスから2名選出する。	【知識・理解】 ・たくみの里体験学習をよりよくするための話し合い活動の方法を理解している。 ・話し合いの際に計画委員として気をつけることを活動計画に書いている。 〈計画委員の活動計画〉
9月20日 (木)	たくみの里体験学習に向けてアンケートをとる。	ねらいにあった内容にするように説明する。	
9月25日 (火)	東京旅行の振り返りとたくみの里体験学習のアンケート結果から、議題設定の理由を考える。 話し合いの活動計画を立てる。役割を分担する。	議題設定の理由は、振り返りとアンケート結果から児童にとって必要感の感じられる内容になるように考えさせる。 学校行事コミュニケーションファイルを基に、司会原稿を教師と一緒に作成し、当日の自分の役割を相談して決める。	

5 本時のねらい(9/28)

たくみの里体験学習の学年の話し合い活動に向けて、議題に対しての自分の思いや考えを小グループで交流し、議題に対しての自分の意見と理由を書くことができる。

6 本時の展開

学 習 活 動	指導上の留意点	時間	目指す児童の姿と評価方法
○学習内容を知る。 ○議題について知る。	・計画委員からの議題の提案を受けて、たくみの里体験学習の話合い活動に向けての自分の考えをもてるようにすることを伝える。 ・計画委員から議題と議題の選定理由について説明をさせる。	5	【関心・意欲・態度】 ・たくみの里体験学習について興味をもち、よりよい活動をするために、考えようとしている。 (観察・学校行事コミュニケーションファイル)
○議題に対する自分の考えを書く。	・学校行事コミュニケーションファイルに議題に対しての思いや経験したことを書かせる。 ・短い言葉でたくさん書けるように声をかける。	10	
○考えた意見をグループで意見交流を行う。	・学校行事コミュニケーションファイルに書いたこと基に、グループで意見交流をし、考えを広げさせる。その際、新たな考えの気づきは賞賛し、記入させていく。	10	
○議題に対する自分の意見を決め、学校行事コミュニケーションファイルに書く。	・意見交流後、自分の意見を決定し、意見とその理由を学校行事コミュニケーションファイルに書かせる。 ・意見は付箋にも書かせる。付箋は、態度や意識に関する内容と行動に関する内容に色分けをする。	15	
○次時の確認をする。	・今日決めた意見を基に、話合い活動を行うことを知らせる。グループの司会に、学校行事コミュニケーションファイルを活用して、話し合うことを伝える。	5	

5 本時のねらい (10 / 2)

たくみの里体験学習に向けて、自分たちがとるべき姿を明らかにし、スローガンを決めることを通して、学校行事に対する意欲を高めることができる。

6 本時の展開

(1) 児童の活動計画

学級活動 (学年話合い活動) 活動計画 10月 2日 (火) 第5校時			
議 題	高学年として、きまりを守り楽しいたくみの里体験学習にしよう		
司会グループ	司 会 () 副 司 会 () ノート記録 () 黒板 記録 () 議題提案 ()		
提案理由	運動会では、競技や演技、準備など、みんなで協力して取り組むことができ、5年生も運動会成功に少し役立てたと思います。そこで、たくみの里校外学習では、5年生全体でさらに協力し、自分たちの力で楽しく行動ができるようにしたいと思います。たくみの里体験学習のアンケートでは、「楽しい体験がしたい」「グループ行動をしっかりしたい」という願いを感じました。また、東京旅行の反省では、「迷子になってしまった」「班がバラバラになってしまった」「時間が守れなかった」などの反省が出されました。(アンケート結果を見せながら) この反省を生かして、楽しいたくみの里体験学習になるようにしたいと思います、この議題を提案しました。		
話合いのめあて	5年生全員が協力して、高学年として成長できるようたくみの里体験学習になるように、みんなで意見を出し合おう。		
決まっていること	10月12日 (金) たくみの里体験学習		
話合いの順序	気をつけること	時間	準備など
1 はじめの言葉	・大きな声ではじめの言葉を言う。		司会等名札 議題を書いた紙
2 役割紹介	・自分のすることを発表する。		

3 議題の確認	・議題をはっきり伝える。	5	学校行事コミュニケーションファイル
4 議題提案の理由	・計画委員会で話し合ったことを発表する。		
5 話し合うことの確認	・今日の話合いの内容が2つがあることをかくにんする。		
6 めあての確認	・全員でめあてを読む。		
7 決まっていることの確認	・司会がみんなに決まっていることを言う。 (たくみの里体験学習の日程)		
8 話合い 話し合うこと① 「5年生全員が団結して取り組むたくみの里校外学習はどうあるべきか」 話し合うこと② 「5年生全員が団結できるような協力するたくみの里体験学習のスローガンを考えよう」	・いままでの内容で質問がないか聞く。 ・2つの話し合うことを、司会がかくにんする。 【グループの話合い】 ・学校行事コミュニケーションファイルを基に、グループの司会が進行する。 (話し合い①) ・台紙に付せんをはりながら、意見を発言する。 ・付せんを動かし仲間分けをする。 ・仲間ごとに見出しをつける。 (話し合い②) ・見出しを見て、スローガンを考える。 ・自分たちの意識が高められるようなキーワードを考える。 ・決まったことを短冊に書く。 【全体の話し合い】 ・グループごとに決まったキーワードを発表してもらう。 ・質問やまとめる意見を出してもらう。 ・まとめたり、新しい言葉にしたりして、スローガンをまとめ、なるべく多数決にはたよらないようにする。 ・意見が出なかったときは、グループの話合いを行う。	10	付箋(2色) 4つ切り画用紙 マーカー
9 決まったことの発表	・ノート記録が全体のテーマで決まったことをしっかり伝える。	10	短冊
10 先生の話	・学校行事コミュニケーションファイルに記入する。	10	学校行事コミュニケーションファイル
11 振り返り			
12 終わりの言葉	・最後に大きな声で終わりにする。		

(2) 教師の活動計画

話し合いの順序	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
1 はじめの言葉	・計画委員との事前打合せをしっかりと行う。 ・大きな声で言えるように励まし、自信を持たせる。	【思考・判断・実践】 ・よりよいたくみの里体験学習にするための具体的な姿や工夫について学校行事コミュニケーションファイルに書き、発言をしている。 ・友だちの発言に
2 役割紹介	・計画委員の児童には、自分の役割についてのめあてを発表させ、役割意識を自覚させるようにする。	
3 議題の確認	・事前に学校行事コミュニケーションファイルを配り、3「議題の確認」から7「決まっていることの確認」をしっかりと理解させておく。また、当日は、質問がないかを確認させる。	
4 議題提案の理由	・提案理由について、改めて確認させしっかりと	

5 話し合いのことの確認	と意識しながら話し合えるようにする。	ついて相手の思いを受け止めようという意識をもって聞いている。
6 めあての確認	・時間を守って2つの内容を話し合うことを確認させる。	
7 決まっていることの確認	・声を出して読ませることより、全員に意識をさせる。	・友だちの意見を参考にして新たな意見や考えを出そうとしている。
8 話し合い	・話し合う2つの内容について再度確認してから話し合いに入らせる。	
話し合うこと① 「5年生全員が団結して取り組むたくみの里校外学習はどうあるべきか」	【グループの話し合い】 ・学校行事コミュニケーションファイルを確認させ、話し合いを進めさせる。 ・発表時の約束が守れるように、声をかけていく。	〈観察・学校行事コミュニケーションファイル〉
話し合うこと② 「5年生全員が団結できるような協力するたくみの里体験学習のスローガンを考えよう」	・付箋を動かし、仲間分けができるように助言をする。見出しは見やすく書かせ、議論の可視化を図る。 ・スローガンのキーワードは、①で出された言葉をヒントにして、選んだり、新しい言葉にしたりすることを助言する。	
	【全体の話し合い】	
	・グループの発表は、できるだけ短い時間でできるようにする。	
	・意見を書いた短冊を動かして、仲間分けをする。まとめりごとに見出しを大きく書かせる。	
	・出されたキーワードから選んだり、新しい言葉を考えたりして、スローガンを考えるように助言する。	
	・折り合いをつける時は、グループの意見で詳しい説明をさせることにより、価値観の共有を図ってから、集団決定に導かせるようにする。	
	・意見に対して、賛成反対の意思表示を色のカードを示し、集団の総意としての意思決定をさせたい。	
9 決まったことの発表	・ノート記録が大きな声で発表ができるように助言する。発表に不足がある場合も助言する。	
10 先生の話	・計画委員とクラスのがんばりを賞賛する。	
11 振り返り	・話し合いを通して、新たに気づいたことや友だちのよかったところ等を学校行事コミュニケーションファイルに記入するように助言する。	
12 終わりの言葉	・大きな声で言えるように励まし、自信を持たせる。	

5 本時のねらい（10／15）

たくみの里体験学習を振り返り、できたことをみんなで確かめ、達成感を味わう。

6 本時の展開

学 習 活 動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
○学習内容を知る。 ○たくみの里体験学習の振り返りを行う。	・たくみの里体験学習について振り返り、グループごとに成果を話し合うことを知らせる。 ・学校行事コミュニケーションファイルに記入させる。 ・できたことや課題を付箋に書かせる。	【思考・判断・実践】 ・テーマや目標に沿って振り返りをしている。 ・友だちのよさに気

<p>○振り返りを基にして、グループで話し合う。</p> <p>○全体で話し合う。</p> <p>○相互評価を伝え合う。</p> <p>○先生の話聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相互評価もさせる。 【グループの話合い】 ・学校行事コミュニケーションファイルを基に、リーダーが進行する。 ・付箋を活用し、一人一人が意見を発言する。理由も言う。聞く時は、うなずいたり、相づちを打ったり、発言しやすいように心がけさせる。 ・全員の発表後、出された意見に質問をしたり、互いの意見を確かめたりする。付箋を動かし仲間分けを行い、見出しをつける。 【全体の話合い】 ・グループで話し合ったことを発表させる。 ・発表されたことを見て、意見や感想を交流させる。 ・グループのメンバー全員にがんばっていたことを、カードを渡し伝える。 ・話合い活動から学校行事までの様子でよくできたことを賞賛する。 	<p>づきいている。</p> <p>〈観察・学校行事コミュニケーションファイル〉</p>
--	---	--

第5学年 学級活動指導案

平成24年10月22日(月) 第5校時
5学年 指導者 井熊 和義

- 1 議題 「音楽発表会を成功させよう」
内容(1)ウ 学校における多様な集団の生活の向上

- 2 議題について
(1)児童の実態(略)

(2)議題選定の理由

本題材は、小学校学習指導要領解説特別活動編における学級活動の活動内容(1)学級や学校の生活づくりーウ学校における多様な集団の生活の向上を受けて選定したものである。

たくみの里体験学習では、東京旅行の反省を生かし、学年全員で話し合い活動を行った。児童は、たくみの里体験学習をよりよい活動にしたいという思いを発表したり、行動目標である学年スローガンを決定したりする話し合い活動を通して、みんなで協力して学校行事を取り組もうとする意識も高められたようである。そこで、学校代表として参加する音楽発表会に向けて、学年がさらに集団意識をもち、心を一つにして、よりよい歌声を披露したいという児童の期待が高まってきた。

児童は、たくみの里体験学習で「チームワーク」のスローガンを掲げ活動した。「グループのみんなに声をかけ活動できた」「仲良く行動できた」など、集団の一員として、以前より集団を意識した活動をすることができた。音楽発表会へのよりよい歌声を披露したいという思いを発表しあったり、スローガンの話し合いをしたりすることを通して、さらによりよい学年集団にしていきたいという児童の思いから、本議題が選ばれた。

学校行事を体験することは、児童にとって、学校生活に秩序と変化を与えることや、自らを律し、協力し、信頼し、励まし合い、切磋琢磨し、喜びや苦勞を分かち合うような望ましい人間関係を築くために有効である。学校行事である音楽発表会の話し合い活動の充実をさせ、主体的に取り組ませることは意義あることだと考える。

3 第5学年及び第6学年の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
文化や芸術の学校行事や、学校の生活の充実と向上にかかわる問題に関心をもち、進んで自分の考えやその理由を伝え合ったり、協力して話し合い、互いの努力を認め合おうとしたりしている。	活動計画に基づき、よりよい学校行事に向けて考え、多様な意見のよさを生かしたり、自分の言葉で意見を述べたりしながら、建設的に話し合ったり、自他のよさや自己の成長などについて考え、協働して実践したりしている。	学校生活をよりよくするための文化的行事の意義や話し合い活動の意義、話し合い活動の効率的な進め方について理解している。

4 事前の活動

【計画委員会の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と 評価方法
10月5日 (金)	計画委員会を組織する。	各クラスから2名選出する。	【知識・理解】 ・音楽発表会で学年が心を一つにして、気持ちのこもった合唱をするための話し合い活動の方法を理解している。 ・話し合いの際に計画委員として気をつけることを活動計画に書いている。 (計画委員の活動計画)
10月10日 (水)	音楽発表会に向けてアンケートをとる。	ねらいにあった内容にするように説明する。	
10月15日 (月)	たくみの里体験学習の振り返りと音楽発表会のアンケート結果から、議題設定の理由を考える。 話し合いの活動計画を立てる。役割を分担する。	議題設定の理由は、振り返りとアンケート結果から児童にとって必要感の感じられる内容になるように考える。 「学校行事コミュニケーションファイル」を基に、司会原稿を教師と一緒に作成、当日の自分の役割を相談して決める。	

【学年全員の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と 評価方法
10月17日 (水)	議題の提案を受け、議題に対する自分の考えを探るために、学校行事コミュニケーションファイルに記入する。	・学校行事コミュニケーションファイルに、議題に対して知っていることや経験したことなどから、自分の思いをたくさん書かせる。	【関心・意欲・態度】 ・音楽発表会について関心をもち、学年が心を一つにして、気持ちのこもった合唱

	<p>議題に対して、話し合い活動を行い、自分の意見を決める。学校行事コミュニケーションファイルに自分の意見と理由を書く。意見は、付箋にも書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事コミュニケーションファイルに書いたことをもとに、グループで意見交流をし、考えを広げさせる。その際、新たな考えへの気づきは賞賛し、記入させていく。 意見交流後、自分の意見を決定し、意見とその理由を学校行事コミュニケーションファイルに書かせる。意見は、付箋にも書く。態度や行動に関する内容と意識に関する内容に色分けをする。 	<p>にするための方策を考えようとしている。 (観察・学校行事コミュニケーションファイル)</p>
--	---	--	---

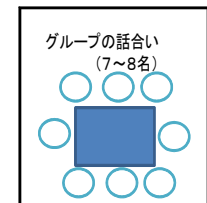
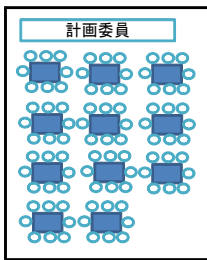
5 本時のねらい

よりよい歌声を披露するための、①練習方法を検討したり、②学年スローガンを決定したりする学年の話し合い活動を通して、音楽発表会に向けて学年全体の児童が心一つにして、気持ちのこもった合唱ができるよう、活動の意欲を高める。

6 本時の展開

(1)児童の活動計画

学級活動(学年話し合い活動) 活動計画		10月22日(月)	第5校時
議題	音楽発表会を成功させよう		
司会グループ	司会() 副司会() ノート記録() 黒板記録() 議題提案()		
提案理由	<p>たくみの里体験学習では、「チームワーク」をスローガンに掲げ、みんなで協力して活動ができ、いい思い出が作れました。(たくみの里の成果を言う)音楽発表会は学校の代表として参加をします。今までの薄根小学校の5年生は、毎年聴く人の心に響くすばらしい歌声を披露してきたそうです。その伝統を受け継げるように、5年生がさらにまとまってがんばりたいと思います。音楽発表会のアンケート結果では、「5年生全員が、息を合わせて、きれいに歌いたい。きれいな声でお客さんが感動してくれるような音楽発表にしたい。悔いがないように思いっきり歌いたい。どの学校よりもきれいな声を出したい。思い出に残る音楽発表にしたい。」などの思いが出されました。みんなで心一つにして、目標を達成し、薄根小の高学年としてさらに成長できるようにしたいと思い、この議題を提案しました。</p>		
話し合いのめあて	音楽発表会で聞いている人に感動を与えるための姿や方法を明らかにして、みんなの心が一つになれるようなスローガンを考えよう		
決まっていること	11月7日(水) 小中学校音楽発表会に学校の代表として参加		
話し合いの順序	気をつけること	時間	準備など
1 はじめの言葉	・大きな声ではじめの言葉を言う。	5	司会などの名札 議題を書いた紙
2 役割紹介	・自分のすることを発表する。		
3 議題の確認	・議題をはっきり伝える。議題を黒板にはる。		
4 議題提案の理由	・計画委員で話し合ったことを発表する。		
5 めあての確認	・めあてを言い、黒板にはる。		
6 決まっていることの確認	・みんなに決まっていることを言う。		
7 話し合い 話し合うこと① 「5年生全員が心一つにして聞いている人に感動を与える音楽発表	<ul style="list-style-type: none"> いままでの内容で質問がないか聞く。 2つの話し合うことを、司会がかくにんする。 話し合う時間を伝える。 【グループの話し合い】 グループの司会に進行してもらう。 	10	付せん(2色) 4つ切り画用紙 マーカー 短冊

<p>会の練習はどうあるべきか」 話合うこと② 「音楽発表会のスローガンを考えよう」</p> <p>8 決まったことの発表</p> <p>9 先生の話</p> <p>10 振り返り</p> <p>11 終わりの言葉</p>	<p>〈話し合い①〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台紙に付せんをはりながら、意見を発表する。 ・付せんを動かし仲間分けをする。 ・仲間ごとに見出しをつける。 ・つけ足しの意見を台紙に書く。 <p>〈話し合い②〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見出しを見て、5年生全体のスローガンを考える。 ・スローガンは、短い言葉（キーワード）を選ぶ。 ・決まったことを短冊に書く。1つに決められないときは、ふく数書く。 <p>【学年全員での話し合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループごとに決まったスローガンを発表してもらう。 ・黒板記録がグループの意見をはる。仲間分けをする・ ・黒板にはった意見を見て、まとめる考えを出してもらう。 ・出された意見に、色カードで賛成反対の意思を聞く。 ・まとまらない意見は、それぞれにくわしい内容を説明してもらう。 ・スローガンを決定する。 ・ノート記録が全体のテーマで決まったことをしっかり伝える。 	<p>10</p> <p>10</p> <p>10</p>	 <p>グループの話し合い (7~8名)</p>  <p>計画委員</p> <p>色カード</p> <p>学校行事コミュニケーションファイル</p>	
	<p>・話し合いの振り返り学校行事コミュニケーションファイルに書いてもらう。</p> <p>・最後に大きな声で終わりにする。</p>	<p>10</p>	<p>学校行事コミュニケーションファイル</p>	

(2) 教師の活動計画

話し合いの順序	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<p>1 はじめの言葉</p> <p>2 役割紹介</p> <p>3 議題の確認</p> <p>4 議題提案の理由</p> <p>5 めあての確認</p> <p>6 決まっていることの確認</p> <p>7 話し合い</p> <p>話し合うこと① 「5年生全員が心を一つにして聞いている人に感動を与える音楽発表会の練習はどうあるべきか」</p> <p>話し合うこと② 「音楽発表会のスローガンを考えよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員との事前打合せをしっかりと行う。 ・大きな声で発表できるように励まし、自信をもたせる。 ・計画委員の児童には、自分の役割についてのめあてを発表させ、役割意識を自覚させるようにする。 ・事前に学校行事コミュニケーションファイルを配り、3「議題の確認」から6「決まっていることの確認」をしっかりと理解させておく。 ・提案理由について、改めて確認させしっかりと意識しながら話し合えるようにする。 ・しっかりと確認できるように大きな声で発表させ、めあてを掲示させる。 ・音楽発表会の日程を確認させる。 <p>話し合う2つの内容について確認してから話し合いに入らせる。</p> <p>【グループの話し合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事コミュニケーションファイルを確認させ、話し合いを進めさせる。 ・発表時の約束が守れるように、声をかけていく。 ・付箋を動かし、仲間分けができるように助言をする。見出しは見やすく書かせ、議論の可視化を図る。 <p>【学年全員での話し合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの発表は、短い時間で端的にできるようにする。 ・意見を書いた短冊を動かして、内容ごとに分類整理できるように助言する。まとめりごとに見出しを大きく書かせる。 	<p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽発表会に向けて心を一つにしてよりよい合唱をするための具体的な姿や工夫について学校行事コミュニケーションファイルに書き、発言をしている。 ・友だちの発言について相手の思いを受け止めようという意識をもって聞いている。 ・友だちの意見を参考にして新たな意見や考えを出そうとしている。 <p>〈観察・学校行事コミュニケーションファイル〉</p>

8 決まったことの発表	<ul style="list-style-type: none"> ・折り合いをつける時は、グループの意見で詳しい説明をさせることにより、価値観の共有を図ってから、集団決定に導かせるようにする。 ・話合いの流れがそれたときは、教師が意図的にめあてを確認するように声をかける。 ・意見に対して、賛成反対の意思表示を赤色青色のカードを示し、集団の総意としての意思決定をさせたい。 ・ノート記録が大きな声で発表ができるように助言する。発表に不足がある場合も助言する。 ・計画委員と学級の話合い活動の取組への意欲を賞賛する。 ・話合いを通して、感じたことや音楽発表会へ思いを学校行事コミュニケーションファイルに記入するように助言する。 ・大きな声で発表できるように励まし、自信をもたせる。
9 先生の話	
10 振り返り	
11 終わりの言葉	

7 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
話合い活動後	○スローガンや自分の目標に向けて音楽発表会の練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会や帰りの会、休み時間などに自分たちで合唱練習ができるように声をかける。 ・決定したスローガンや話合いで使った台紙を掲示し、意欲の継続を図る。 	【関心・意欲・態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割に進んで取り組もうとしている。 〈観察〉
11月7日(水)	○音楽発表会に参加する。	<ul style="list-style-type: none"> ・参加の前にスローガンを確認させる。 	【思考・判断・実践】 <ul style="list-style-type: none"> ・学年のスローガンや自分の目標を意識して活動している。
11月9日(金)	○音楽発表会の振り返りを行う。 ○振り返りを基にして、話し合う。 ○相互評価を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事コミュニケーションファイルに記入させる。 ・成果や課題を付箋に書かせる。 【グループの話合い】 <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事コミュニケーションファイルを基に、リーダーが進行する。 ・付箋を活用し、話合い活動を行う。 ・全員の発表後、付箋を動かし仲間分けを行い、見出しをつける。 【全体の話合い】 <ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合った内容を発表する。 ・発表で出された内容を確認し、意見や感想を交流する。 ・グループのメンバーにがんばって取り組んだことを書き、カードを渡し伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スローガンや自分の目標に沿って、振り返りをしている。 ・友だちのよさに気づきいている。 〈観察・学校行事コミュニケーションファイル〉